

## 2022年度

①リサイクル量	トン	3,753.3	
店 舗	野菜・肉の加工くず堆肥化(コープ土づくりセンター)	トン	587.0
	肉の加工くず飼料化(外部委託)	トン	2.4
	魚アラの飼料化(外部委託)	トン	458.8
食品工場	バイオマス発電への投入	トン	589.6
	パン耳等の飼料化	トン	183.0
	おからの乾燥・飼料化	トン	568.5
	おからの乾燥(水分量)	トン	1,309.9
	生ごみ(家畜飼料)	トン	6.3
廃油(余剰分回収)	トン	47.8	
②食品廃棄物の廃棄量	トン	1,425.4	
リサイクル率 ①÷(①+②)	%	72.5	
食品リサイクル法上の再生利用等実施率	%	80.6	

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

### 1. コープ土づくりセンターでのリサイクルについて

神戸・三木・明石・芦屋・西宮・宝塚・尼崎・伊丹・加古川・高砂市内の49店舗から野菜と肉の加工くずを回収しています。回収した加工くずは、三木市にあるコープ土づくりセンターで、堆肥製造の原料として活用されています。製造された堆肥は、土づくりセンターに隣接する(有)みずほ協同農園で使用され、収穫した農作物はコープこうべの店舗で供給されています。

### 2. 食品工場でのリサイクルについて

- ①豆腐製造の際に発生する生おからを乾燥し、飼料の原料として売却しています。
- ②おから以外の食品廃棄物を分解し、その過程で発生するメタンガスを取り出し、工場内の燃料として活用しています。

## メタン化

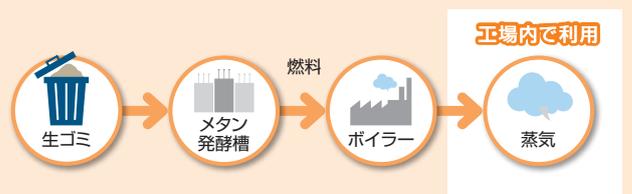
### 六甲アイランド食品工場のバイオマス発電

パンや豆腐などを製造する六甲アイランド食品工場では、メタン発酵を利用したバイオマス発電などにより、約98.6%の食品廃棄物をリサイクルしています。



バイオマス発電

#### ■バイオマス発電のしくみ



## コープ土づくりセンターの実績

年度		2018	2019	2020	2021	2022
食品残さ回収量(原料投入量)	トン	681	451	695	657	519
堆肥生産量	トン	100	84	94	99	75

## 食品ロス削減の取り組み

フードドライブ常時受付、集中受付キャンペーンの展開

		2021年	2022年
食品回収量	トン	約20	約54

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

### 店舗でのフードドライブ常時受付

家庭の余剰食品を持ち寄ってフードバンクに提供する「フードドライブ」を推進しています。2021年4月よりコープミニを除く全ての店舗で常時受付を開始。（※コープミニルミナス箕面は実施）

